

評価項目の達成および取組状況

- 1 教育
- 2 施設・設備
- 3 学生サービス
- 4 教育面などでの特筆すべき取り組み

教育分野 看護

1 教 育

項 目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策	委員からの指摘事項
1. カリキュラムは貴校の教育目標をどのように反映していますか	○教育理念、教育目標を土台とし、教育目標を示し、カリキュラム構成を行っている。また、学生への周知を行っている。	○機会があれば勉強会に参加している。 ○「教育理念」を各学年の教室・廊下に掲示し、常に意識してもらいやすようにしている。	5 4 3 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分 ○	○カリキュラムの運用方法について、引き続き教務会等で検討していく。 ○学生に対して、教育理念や目標を引き続き周知していく。 ○教員に対しても、教育目標の理解・共有を強化していく。 ○看護師不足を補うためにも、准看護師の役割を理解し、准看護師教育の意義を、更に内外に知らしめる必要がある。	●潜在看護師を出さないよう、卒後教育、指導が学校からもできると良いのでは。同窓会等を介して、看護の社会的意義を伝えていけたら 回答：新型コロナウイルスの影響で同窓会も活動を停止していたが、現在は活発に活動している。新入職員が同窓会で活動しており、そういったことも離職防止につながるのでは
2. カリキュラムに卒後の職場のニーズをどのように反映していますか	○地域を基本とした多くの場での活動を求められることを考慮し、新カリキュラムでは看護実践力やコミュニケーション力の向上を目指す内容としている。 ○准看護科の学生に、看護師の資格取得を勧めている。1年生の早いうちから、姉妹校の見学説明会に参加している。	○姉妹校への訪問、見学ができた。特典などをうまく利用し、引き続き進学する学生を増やす必要がある。 ○2024年度、准看護科の進学率は46%であった。 ○コロナの影響でアルバイトに制限があり、経済的負担から進学を見送る学生がいた。 ○准看護師の役割として、観察と報告を重視すると共に、患者体験から患者の気持ちを慮る看護技術の習得に務めている。	5 4 3 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分 ○	○卒業生の離職率が把握できていない。 ○引き続き卒業後に就職した職場と連携し、卒後研修等にも協力したい。 ○准看護師の働き方や病院での位置付けを明確にし、学生に対しても理解を求める取り組みが必要と感じる。 ○引き続き、准看護師の職場ニーズの把握に努めていく。	●就職後の動向を組織として把握しても良いのでは ●卒業生が離職する時に相談はあるか 回答：多くの卒業生が学校に遊びに来てくれる。その際に、友人の就職・離職の動向を聞くことはある。
3. 授業科目の学年進行や時間配分は適切ですか	○全学年新カリキュラムで運用している。 ○コロナ等の対応について実習施設等の状況を入れ考えた。 ○公欠の者はリモート講義に切り替えるなど、柔軟に対応している。	○コロナ等への対応も減り、通常の講義を行うことができています。	5 4 3 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分 ○	○進度調整と講師依頼の時期なども引き続き検討していく。	

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策	委員からの指摘事項
4. シラバス (授業要 項)を作成 していま すか(内容 は適切で すか)	○作成している。 ○授業内容は学生便覧に明記して いる ○カリキュラム改正に合わせて担 当科目の見直しを再度行い、漏れや 重複がないようにした。	○シラバスは講義依頼時に一部修 正し、より分かりやすく変更してい る。 ○授業内容は教員・学生双方が分か るように明示している。	5 4 3 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分 ○	○准看護師に求められる実践 能力の育成に則った内容であ るか、教員間で意見交換し、そ こにより即した内容となるよ う、改善に努める。	
5. カリキュ ラムの見 直し体制 はどのよ うにして いますか	○看護学科では、前後期終了後、教 務会での議題として見直しを行っ ている。 ○臨地実習の内容及び評価表の見 直しを実施した。 ○准看護科でも、前後期終了時や問 題提起があった場合などに、教務会 議で時間数も含め見直しを行って いる。	○授業担当者からの意見を取り入 れている。	5 4 3 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分 ○	○今後の動向や情報を元に、教 務会議等でブラッシュアップ していく。 ○カリキュラムについての話 し合いを設ける会議を定期的 に行う。	
6. テキスト や教材をど のような基 準で採用し ていますか	○2021 年度より電子テキストを 導入。 ○教育目標や教科の内容に合わせ、 より分かりやすいテキストを採択 している。学生の経済的負担にも配 慮した。 ○講義での使いやすさや、講師との 話し合いも踏まえて決定している。	○講義によっては副読本の活用及 び動画利用などの工夫をしている。 ○学生の経済的負担に配慮し、あま り活用していない副読本などがあ れば担当講師に相談の上変更して いる。 ○使用頻度の少ないテキストを削 ることにより、使用しないテキスト の購入には至らなかった。	5 4 3 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分 ○	○学生の意見を考慮し、ICT 導 入による教育を一つの方略と して活用する。 ○新刊本・改訂本など注意深く 情報を得、ICT 教育も含め今後 も教務会議等で見直しを行っ ていく。 ○今後も、テキストの使用状況 を確認しながら内容と合わせ て再検討し、学生への冊子配布 につなげる。 ○電子と紙療法のテキストを 購入しているが、学生の経済的 負担もあり再度精査が必要。	

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策	委員からの指摘事項
7. 目標とする教育効果を踏まえて適切に成績評価を行っていますか	<p>○30時間を超える授業については、中間・終講の2回試験を行い、その都度合格まで再テスト等を行っている。</p> <p>○評価は終講試験だけでなく、課題や実技などを踏まえ、担当教員が認めた方法で行っている。</p> <p>○実習評価は評価表に沿って、教員及び実習指導者が合議して評価している。また、教務会でも討議し決定している。</p> <p>○准看護科実習においては、指導者評価と教員評価を照らし合わせ、点差が大きい場合は合議している。それ以外は指導者と教員評価の平均値とした。</p> <p>○准看護科の臨地実習においてはルーブリック評価を取り入れた。</p> <p>○今年度から母性看護実習も臨地での受け入れが決まり、成績評価もルーブリックを取り入れている。</p>	<p>○成績不良者及び未成年者に対して、保護者との連絡を密にしている。家族の協力があることで、成績上昇がみられた。</p> <p>○中間試験があることにより、学生に勉強の必要性を意識化させることが出来、退学・休学を最小限に抑えている。</p> <p>○ルーブリック評価を取り入れ、より主体的に今の自分のレベルを学生自身が確認しながら評価することで、次なる課題を見出しやすくなった。</p> <p>○准看護科にも助産師の資格を持つ専任教員が加わったことで、母子看護実習の見直しが進み、専門分野の充実を図ることができた。</p>	<p>5 4 3 2 1 十 ぶ 不 ← つ → 十 分 う 分 ○</p>	<p>○成績評価について、ベースとなる学習を教員間で行なっていく。</p> <p>○均質的な実習評価を目指し、実習調整者を中心とした協議が必要である。</p> <p>○成績不良者及び未成年者に対しては、引き続き保護者との連携を図っていく。</p>	
8. 学生の理解度に応じて授業を柔軟に進めていますか	<p>○学生の理解度に合わせ、各教員が授業形態や授業方法を選択している。</p> <p>○担任と非常勤講師で、問題を早期解決すべく話し合いを行っている。</p> <p>○非常勤講師への授業アンケートの一部開示を行っている。</p> <p>○授業中の姿勢などで、関心を持っているかを判断している。</p>	<p>○基礎学力の差が大きく、学習習慣なども生活環境による違いが大きい。授業や試験の結果を受けて、面談や保護者への連絡など、早めに対処するようにしている。</p> <p>○臨地実習の指導などに時間がかかり、授業方法等について研究する時間がとれない。</p>	<p>5 4 3 2 1 十 ぶ 不 ← つ → 十 分 う 分 ○</p>	<p>○研究授業や公開授業などを行い、教員間でも検討していく。</p> <p>○両学科とも、常勤教員へのアンケート開示を行っている。</p> <p>○授業アンケートについて、評価する学生が少ないため工夫が必要である。</p>	

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策	委員からの指摘事項
9. 学生の学力不足を補うための教育をとくに実施していますか	<p>○毎年教員と学生による国家試験対策委員会が活動している。今年度も例年の補習対策に加え、各学年委員会が自主的に決定し、対策を実行した。結果、全員合格を達成することができた。</p> <p>○成績不良者に対する補習を、3年次の夏期休暇および国家試験前に実施した。</p> <p>○資格試験対策においても強化学習などの対策を行った。2年次に資格試験対策委員を立ち上げ、学生主体の学習を行った。成績不良者を対策委員のメンバーに入れ、自主的に学習に参加できるよう促した。</p> <p>○入学前教育プログラムを導入し、入試合格者に事前課題に取り組ませている。入学後に確認テストを行い、基礎力の定着や学習態度なども判定している。</p>	<p>○看護学科、准看護科とも、全員合格を達成した。</p> <p>○国家試験対策委員会「ナースになるぞ委員会」を継続的に運営し、学生の主体的な国家試験対策が維持できている。学生と教員が定期的に会を開き、クラスに持ち帰った国試対策を学年に応じて実施している。</p> <p>○在学期間を、有意義に学習に集中する期間であることを学生に指導している。</p> <p>○成績に個人差があったが、全員合格を目指し学生同士自主的にサポートしあうことができ相乗効果を得られた。結果、今年も合格率100%に繋がった。</p>	<p>5 4 3 2 1</p> <p>十 ぶ 不</p> <p>← つ → 十</p> <p>分 う 分</p> <p>○</p>	<p>○引き続き、成績や授業態度に問題のある学生に関しては面接を行い、早期に行動の修正ができるよう取り組む。</p> <p>○実習と資格試験対策が関連していることを意識づけていく。</p> <p>○問題がある場合はその都度教務会で協議する。</p> <p>○資格試験対策の効果をさらに向上させるべく、時期や方法について継続的に検討する。</p> <p>○基礎カリサーチの結果を用いて、注意の必要な学生には早めに対応していきたい。</p>	<p>●100%合格の工夫は</p> <p>回答:准看護科は合格率100%を継続している。学生同士をチームで学習に取り組ませている。看護学科は偏差値の低い学生には朝と夕方に試験対策をするなど、チューター制の様な取り組みが功を奏した。教員の意気込みも良かった。</p> <p>●合格率100%のために進級を阻むことはないか</p> <p>回答:本校では卒業試験等は実施していない。卒業要件を満たす学生は全員に資格試験・国家試験を受験している。</p> <p>●学生個人個人に合った教育を。</p> <p>回答:ホームカミングデーなどもやっていければ。同窓会でも新卒者が参加しており、職員の定着にもつながるのでは</p> <p>●通信制高校の学生が増えているが、受験者への影響はどうか。</p> <p>回答:通信制高校出身の受験者は増えている。合否は適性を見て判断しているが、通常の高等学校と違いはない。</p>

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策	委員からの指摘事項
10. マナー（喫煙指導などを含む）やしつけの教育や指導を行っていますか	<p>○学生のプライベートまでケアし、何かあれば学生、家庭、学校の三者で話し合っている。</p> <p>○担任を中心に、看護学生としてマナーや身だしなみを指導している。</p> <p>○実習では報告・連絡・相談が不可欠であり、その教育もしている。</p> <p>○看護職の倫理綱領などを用いて指導している。</p> <p>○学外でのマナーや行動についても指導が必要である。</p>	<p>○学外から指摘があった場合、すぐに対応している。</p> <p>○家庭環境や育成歴により指導が必要な学生に多くの時間が必要。身だしなみ（服装・髪型）や言葉づかいについての指導が多い。</p> <p>○体調含め自分管理が不十分な学生がいる。身だしなみも乱れがちである。</p> <p>○全教員が常時指導を行っているが、行動に変容のない学生もいる。</p>	<p>5 4 3 2 1 十 ぶ 不 ← つ → 十 分 う 分 ○</p>	<p>○令和7年度より制服が廃止となり、学生らしい服装をするよう指導が必要。</p> <p>○マナーや倫理観の学習を深める必要がある。</p> <p>○学生指導の内容が複雑化しており、対応した教員のメンタル面でのフォローも必要である。</p> <p>○今後も、公認心理師の先生と連携していく。</p>	<p>●制服を廃止した理由は 回答：入学時の金銭的負担軽減の為。実習はスーツで行くよう指導している。</p> <p>●制服廃止のメリット・デメリットは 回答：制服が高額であるため廃止したが、驚くような服装の学生はいない。髪の色は様々だが、実習の時は黒にするよう指導している。学生は自身の服装に配慮しており、学生同士でも注意しあう姿が見られる。</p>
11. 教育技術（教育方法）の研究を実施していますか	<p>○新しい教育方法について学ぶ機会があり、各教員積極的に取り入れている。</p> <p>○夏休み等の限られた期間内で、研修に参加している。</p> <p>○研修に参加した教員に、会議での報告や資料の回覧等行ってもらっている。</p> <p>○一部、共同学習を取り入れている。</p>	<p>○個別指導に費やす時間が非常に多い。それぞれの生活環境が大きく影響してると考えられる。</p> <p>○人員が少なく、一人の教員に対する役割が大きい。</p> <p>○教員に、専門領域に関する学会や研修会への参加を呼び掛け、年2回の研修会参加を促している。だが学内実習や講義等で研修に参加しにくい状況である。</p> <p>○研究も同様に時間的余裕がなく、実施できていない。</p>	<p>5 4 3 2 1 十 ぶ 不 ← つ → 十 分 う 分 ○</p>	<p>○教員の自己及び相互研鑽のためにも、研修に参加できる体制作りが必要。</p> <p>○教員が学生指導に活かすことのできる、カウンセリングなどの研修も導入したい。</p> <p>○研修会に参加した教員には伝達講習を行ってほしい。</p> <p>○実施している新しい教育方法について、教員間での共有、研修会参加を積極的に進める。</p> <p>○教員同士で授業内容の吟味・相談などを出来る環境作りが必要。</p>	

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策	委員からの指摘事項
12. 学生による授業評価を実施し教育改善に反映していますか	○終講時に授業評価や卒業時アンケートを行い、その結果を受けて各教員が授業内容や方法改善に取り組んでいる。	○授業評価をオンラインに変更したため、評価をする学生が減少した。 ○教員自身は結果を受け次年度に活かすよう、前向きに取り組んでいる。検討を要する場合は教務会で協議している。 ○非常勤講師に対して授業評価が十分に生かされていない部分もある。	5 4 3 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分 ○	○授業評価の内容や実施方法について、引き続き検討していきたい。 ○実習だけでなく講義においても目標の到達レベルチェックを行い、終講試験と併せて理解度の確認をしていく。	

2 施設・設備

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策	委員からの指摘事項
1. 教室の数や広さ、付帯設備は適切ですか	<p>○設置基準に基づいている。</p> <p>○学生との面談スペースが少ないため、利用が重ならないよう調整している。</p>	<p>○校舎の建設後 20 年以上が経過し、設備等に不具合が生じている。大規模な電気設備の交換や改修が必要。</p> <p>○大きな学生向けの机や椅子がない。机・椅子の老朽化。</p> <p>○学生へのトイレ掃除の指導が難しい。</p> <p>○一昨年度設置の空調は良好に稼働している。</p>	<p>5 4 3 2 1</p> <p>十 ぶ 不</p> <p>← つ → 十</p> <p>分 う 分</p> <p>○</p>	<p>○設備などの計画的なメンテナンスや新規購入を進めたい。</p> <p>○自転車置き場に屋根を設置したい</p> <p>○体格の良い学生向けに、大きいサイズの椅子と机を準備したい。</p> <p>○備品の検討が必要。</p>	
2. 図書室を設け蔵書を適切に揃えていますか(有効に活用されていますか)	<p>○放課後の自主学習など学生の活用度は高い。</p> <p>○卒業生がよく学校に来る。関連病院の看護師の方も、研究発表の資料作りで来校される。</p> <p>○図書は専門分野ごとにある程度充実しているが、古いものもある。</p> <p>○図書室のコピー機はカラーコピーも対応可。</p>	<p>○卒業生も利用しやすい環境である。</p> <p>○所在不明な図書が出ないよう、書庫を時間利用としている。</p> <p>○図書室の本をケーススタディや実習のまとめ発表に活用している。</p> <p>○自習等の利用者が多い場合、荷物を置くスペースが少ない。</p> <p>○蔵書検索のパソコンが古く、検索に時間がかかる。</p>	<p>5 4 3 2 1</p> <p>十 ぶ 不</p> <p>← つ → 十</p> <p>分 う 分</p> <p>○</p>	<p>○パソコン等機器の整備</p> <p>○新書の購入の推進</p>	
3. 実習・実験室の数や広さ、付帯設備は適切ですか	<p>○基準に規定された通りで適切である。年に1回実習室の備品点検を行っている。</p>	<p>○必要に応じ、物品購入を行っているが買い替えが必要なものもあり、状況に応じて購入を依頼している。</p> <p>○タオル・シーツ・寝衣などの補充をしている。</p>	<p>5 4 3 2 1</p> <p>十 ぶ 不</p> <p>← つ → 十</p> <p>分 う 分</p> <p>○</p>	<p>○備品点検時に備え、新規物品購入時に、番号と年月日を入れる。</p> <p>○計画的な物品の新規購入が必要。</p>	

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策	委員からの指摘事項
4. 最新機能を備えた視聴覚機器や情報機器は足りていますか(有効に活用していますか)	<p>○教務室では一人一台パソコンを持ち、業務を行っている。</p> <p>○各教室の情報機器に故障やトラブルがあれば、買替対応している。</p> <p>○パソコン室のパソコンが古く起動に時間がかかる。</p> <p>○コピー機の故障が頻発している</p>	<p>○プロジェクターのない教室でのセッティングに手間と時間を要する。</p> <p>○パソコン室のプリンターが1台しかない。</p> <p>○ソフトウェアのバージョンが古く、DVD 視聴や PowerPoint の読み込みに難がある。</p>	<p>5 4 3 2 1</p> <p>十 ふ 不</p> <p>← つ → 十</p> <p>分 う 分</p> <p>○</p>	<p>○学籍管理ソフトや、学生への連絡アプリの導入を検討したい。</p> <p>○常に最新の状態を保てるよう、定期的に点検していきたい。</p> <p>○パソコン室のパソコンを新しいものにする。</p> <p>○コピー機の点検</p>	
5. ニーズに応じた学生寮を保有していますか(有効に活用されていますか)	<p>○学園の学生寮(女子寮)が設置されており、数名の学生が入寮している。</p>	<p>○入居する学生には、管理規則を遵守するよう指導している。</p>	<p>5 4 3 2 1</p> <p>十 ふ 不</p> <p>← つ → 十</p> <p>分 う 分</p> <p>○</p>	<p>○寮生への管理規則遵守を徹底する。</p>	
6. 体育館や運動場などを保有していますか(有効に活用されていますか)	<p>○関連施設の体育館を年に数回授業で利用している。</p>	<p>○関連施設のバスで送迎していただけのため、利用しやすい。</p>	<p>5 4 3 2 1</p> <p>十 ふ 不</p> <p>← つ → 十</p> <p>分 う 分</p> <p>○</p>	<p>○今後も積極的に体育館を使用していきたい。</p>	

3 学生サービス

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策	委員からの指摘事項
1. クラス担任制をとり修学の問題のある学生に対して適切な対応を行っていますか	<p>○担任1名、副担任1~2名で学生指導を行い、問題がある学生については教務会議で協議している。</p> <p>○必要な場合は教務主任が保護者と連絡を取り、情報交換をしている。</p> <p>○成績や授業態度等問題のある学生には、面接を随時行っている。</p>	<p>○教員数の不足</p> <p>○放課後に学生からの相談が多く、残業となり、身体的・精神的な負担が大きい。</p> <p>○准看護科は年齢層が高く、自主的に勉強できる学生が多い。二十歳未満の学生は働きかけないと学習が定着しない。</p>	<p>5 4 3 2 1</p> <p>十 不</p> <p>← つ → 十</p> <p>分 う 分</p> <p>○</p>	<p>○様々な課題を抱えた学生が多いため、担任に限らず誰もが学生に関わり共有する必要がある。</p> <p>○指導が必要な学生の増加で教員の対応時間が長くなるため、他の業務に支障をきたさないよう業務分担が必要。その際、担任の役割・考え方を共有することが大切である。</p>	<p>●昨年度より AO 入試を実施しているが、学力の心配は回答：毎年、基礎学力テストを入学時に行っている。今年度の学生は昨年度とほぼ同等。AO 入試の入学生が多いため、やる気や勉強に対する取り組みの姿勢は昨年度よりも高い。学力面は昨年度より努力が必要な学生が多い</p>
2. 学生に対してカウンセリング(心理相談)を行っていますか	<p>○教員が学生と個別に対応していることもあるが、公認心理師と連携を取り、相談しながら対応している。必要時、公認心理師と定期面談も行ってもらう。</p>	<p>○公認心理師が授業も担当してくださっており、学生にとっては安心できる環境である。</p>	<p>5 4 3 2 1</p> <p>十 不</p> <p>← つ → 十</p> <p>分 う 分</p> <p>○</p>	<p>○少なくとも週2回のカウンセラー常駐が望ましい。</p>	
3. 教室以外に休憩スペースが適当に置かれていますか	<p>○休憩時間にラウンジで歓談している場面が良く見られる。</p> <p>○ラウンジでの飲食は禁止。</p> <p>○グループワークや自習のスペースが不足している。</p>	<p>○休憩時間、ラウンジに3クラス重なると狭い。</p> <p>○歓談できるスペースが少ない。</p>	<p>5 4 3 2 1</p> <p>十 不</p> <p>← つ → 十</p> <p>分 う 分</p> <p>○</p>	<p>○スペースに限りがあるため、効率の良いラウンジの使い方を引き続き検討する。</p>	
4. 食事場所や売店などのスペースが設けられていますか	<p>○弁当、パンの販売があり、学生は教室で食事をとっている。売店・食堂はない。</p> <p>○食事は教室内で黙食するよう指導している。</p>	<p>○弁当やパンの販売は好評で、学生もよく利用している。</p> <p>○菓子やカップ麺の自販機を導入した。利用者が多く好評。</p>	<p>5 4 3 2 1</p> <p>十 不</p> <p>← つ → 十</p> <p>分 う 分</p> <p>○</p>	<p>○関連病院の食堂利用についても引き続き検討されたい。</p>	
5. 学校独自に奨学金や特待生制度を行っていますか	<p>○関連医療法人の奨学金制度があり、学年にもよるが1クラス2~7人程度が利用している。</p>	<p>○給付型奨学金の要件や採用決定時期が厳しく、関連施設への就職に繋がらない恐れがある。</p>	<p>5 4 3 2 1</p> <p>十 不</p> <p>← つ → 十</p> <p>分 う 分</p> <p>○</p>	<p>○完全給付型奨学金制度への変更が望まれる。</p>	

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策	委員からの指摘事項
6.その他	<p>○准看護科が2年後に閉科となる</p> <p>○京阪寝屋川市駅からJR忍ヶ丘駅経由で無料スクールバスが運行されている。</p> <p>○教員年齢層の高齢化</p>	<p>○閉科に係る学生対応、学則や内規の変更など課題が多い。今後の見通しが立たず不安の声もある。</p> <p>○最寄駅である近鉄生駒駅からのスクールバスがない。</p>	<p>5 4 3 2 1</p> <p>十 ふ 不</p> <p>← つ → 十</p> <p>分 う 分</p> <p>○</p>	<p>○教員の確保が課題である。</p> <p>○近鉄生駒駅からのスクールバスを検討していく。</p>	<p>●准看護科が閉科となるが、今後の動向は。</p> <p>回答：看護学科を引き続き運営。社会人にも入学を訴求していく方向</p> <p>●少子化で学生募集の厳しさが増しているが、取り組みは</p> <p>回答：高校内ガイダンスの回数や個別相談の回数を増やしている。本校は口コミでの入学や地元の方が多。今後は中学生をターゲットにしていきたい。</p> <p>●地元地域での募集だけでは難しいのでは</p> <p>回答：インターネットを駆使して遠方にも広報をしている</p>

4 教育面などでの特筆すべき取り組み（自由記入）

※学内においてこれまで記入したこと以外に、教育、施設・設備、学生サービス面での特筆すべき取り組みがあれば記入ください。

○奈良県内の看護専門学校において、入学者の定員割れが起こっている。本校においても、AO入試を取り入れ何とか定員が充足したが、今後入学者の確保が難しくなる。募集活動を、学園全体で考えていきたい。

○学生の欠席、遅刻が増加しており、教務の指導を強化している。

○同窓会の活動を活発にし、卒後のサービス向上にも努めたい。

○新カリキュラムとなり臨地実習期間が短縮されたが、学内実習日の活用により、臨地でできなかった看護計画の修正・実施などに取り組むことができた。

○新カリキュラムにより12月～2月に若干の時間的余裕ができたため、個別に国家試験対策を計画し取り組むことができた。その結果、100%合格を達成できた。

●法人内での実習が多く、学生が明るく挨拶しているところをよく見かける。実習にも真摯に向き合っており、先生と学生の関係性が良いのを感じる。

●グループ医療法人への就職が増えれば、お互いフィードバックできるのではないか。

●通信制高校への入学者が急増している。こうした生徒をターゲットにしていく戦略も今後考えられる。